

## 資料7

### 「新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行に備えた対応」(R4.10.13政府決定)の概要

#### 基本的な考え方

- 今冬においては、新型コロナウイルス感染症について、今夏を上回る感染拡大が生じる可能性があり、加えて季節性インフルエンザも流行し、より多数の発熱患者が同時に生ずる可能性がある。
- こうした事態にも対応できるよう、9月8日の「Withコロナに向けた政策の考え方」で国が示した「基本的考え方」に則り、限りある医療資源の中でも、高齢者・重症化リスクのある方に適切な医療を提供するための保健医療体制の強化・重点化を進めていく。
- 具体的には、重症化リスク・疾患等に応じた「外来受診・療養の流れのイメージ」の下、各地域の実情に応じて、発熱外来や電話診療・オンライン診療の体制強化と治療薬の円滑な供給、健康フォローアップセンター機能の拡充と自己検査キットの確保、入院治療が必要な患者への対応の強化等の対策を進めるとともに、国民各位への情報提供と重症化リスク等に応じた外来受診・療養への協力の呼びかけなどに取り組む。

## 今冬の感染拡大の想定等

- 新型コロナ1日45万人、インフル1日30万人規模で同時流行し、ピーク時には1日75万人の患者が生じる可能性を想定して準備を進める。
- 医療にひっ迫が生じる場合や病原性が強まる場合には、住民や事業者に対する感染拡大防止等に関する協力の要請や行動制限を含む実効性の高い措置等の状況に応じた対応を行う。

### 1 同時流行に備えた対策

- (1) 新型コロナ・インフルの同時流行下における外来受診・療養の流れ
- (2) 発熱外来の強化と治療薬の円滑な供給
- (3) インフル等の体調不良等に受診を希望する患者の電話診療・オンライン診療体制の強化
- (4) 健康フォローアップセンターの拡充と自己検査キットの確保
- (5) 発熱患者等の相談体制の強化と周知徹底
- (6) 救急医療や入院治療等に関する対策
  - ①救急医療のひっ迫回避 ②入院治療が必要な患者への対応の強化 ③高齢者施設等に対する医療支援等

### 2 ワクチン接種の推進

### 3 国民各位への情報提供と重症化リスク等に応じた外来受診・療養への協力等の呼びかけ